1～2 時間でできる授業例 宮城県仙台二華高等学校 教諭 石森広美

～コラムをご執筆いただいた石森先生が授業例を 3 つご紹介！！コラムと合わせてご参照ください。～

授業例 1 『グローバルイシュー（地球的課題）とは何か』

配分	主眼・テーマ	活動内容	準備物・留意事項
1 コマ ～ 2 コマ	<p>グローバルイシューの解決に向けた資質や行動力を育成することは、国際理解教育の目的でもある。</p> <p>ではグローバルイシューとは何か。共通する特徴（定義）について考えさせ、さらに具体的なグローバルイシューを挙げさせ、その数の多さと関係性、また各問題が複雑に絡み合っていることを理解させる。</p> <p>また、自分たちのライフスタイルとも無関係ではないことなどを実感させる。</p>	<p>グローバルイシューとはどのような問題（課題）を言うのか、定義（共通項）について各自考える。グループで話し合い、意見をまとめ、発表する。</p> <p>思いつくグローバルイシューをどんどん挙げていく（地球温暖化、紛争、難民、水不足、資源の枯渇、人口増加等…）。そしてそのつながりをウェビング（マッピング）という手法を用いて線で結んでいき、関連性を「見える化」する。</p> <p>グループ代表者がポイントを発表する。</p> <p>私たちの日々の生活が深く関わっていることを知る。</p> <p>（オプション：時間があれば、その解決策について考えさせ、付箋に解決カードを作成、配置していく）</p>	<p>ブレインストーミング グループワーク（ディスカッション、発表）・付箋用意</p> <p>グループを作って、話し合いをさせる。意見を積極的に出し合うよう支援する。</p> <p>国内や地域で起こっている変化などにも目を向けさせる。</p> <p>また、ある程度挙がったら、自分たちの生活との関連についても意見交換させる。</p> <p>随時コメントを行う。</p>

授業例 2 『グローバル化のプラス面とマイナス面』

配分	主眼・テーマ	活動内容	準備物・留意事項
1 コマ ～ 2 コマ	<p>グローバル化が急速に進展しているが、それを意識し改めて考えることはあまりない。</p> <p>グローバル化という現象の影響は日常生活に入り込んでいるが、身近な経験からそれを感じ取る。</p> <p>そしてグローバル化の意味を改めて問い直し、プラス面、マイナス面（危惧される面）について考える。物事を多角的な視点から考察するスキルを養う。</p> <p>また、グローバル化によって国内の多文化化も進んでいることを理解する。その上で、社会がどうあるべきか考えを深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化が進んでいると感じること・経験を箇条書きにする（または付箋に書き出す）。（「コンビニの店員が外国人だった」「洋楽やアメリカの映画に親しんでいる」「海外のニュースがすぐわかる」「外国のお菓子をよく買う」…） ・これをグループで共有する（付箋を使った場合カテゴリーごとに分ける）。気づいたことを口に出し合う。 ・全体で発表する。 ・次に、グローバル化によってもたらされる良い面（+）、悪い面や危惧される面（-）についてグループで話し合う（いろいろな友達ができる、エスニック料理が楽しめる、外国の文化を知れて面白い、医療や技術など高め合える、英語ばかり重視される、格差が広がる、伝統料理や伝統文化が消えていく…）。 ・これを全体で発表する。 	<p>グループワーク（ディスカッション、発表）・付箋用意</p> <p>グループを作って、話し合いをさせる。意見を積極的に出し合うよう支援する。</p> <p>グローバル化・多文化が日常生活に入り込んでいることを実感させる。</p> <p>グローバル化には正の側面と負の側面がある。どちらも自覚し、考えていく必要がある。</p> <p>グローバル化は確実に日常生活に入り込み、多文化化をもたらす。皆が住みやすい社会にするためには何が必要だろうか。</p>

授業例 3 『公正について (Fair/ Unfair) 考える』

配分	主眼・テーマ	活動内容	準備物・留意事項
1コマ ～ 2コマ	<p>社会的公正・正義 (social justice) について多面的に考える。</p> <p>多くの人が不平等だと感じた経験を持っているだろう。しかし、それは個人の能力や信頼性等とまったく関係のないところで行われたのかどうか考える必要がある。</p> <p>世界には、民族、出自、宗教、性別 (ジェンダー) 等によって不当な扱いを受けたり、基本的人権が侵害されている人々が多く存在する。そのことで学校に通えなかったり、正当な賃金を得られないなど、差別や不利益を被る場合もある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・不平等だ、不公正だ、理不尽だ、と感じた経験を出し合い、共有する ・それは正当な理由がなくそういう扱いを受けたのか (それとも実力不足、信頼を得ていなかった等思い当たる理由があったのか) を考えさせる ・世界には民族、出自、宗教、性別 (ジェンダー) 等によって不当に差別や不利益を被っている人々がいることを理解させる (いくつかの事例提供) ・フェアな世界にするにはどうしたらいいか、話し合ってみて考えさせる (オプション1: フェアな取引 (貿易) としてフェアトレードという仕組みがあることを教える) ・ (オプション2: 子どもの権利を守るための国際条約「子どもの権利条約」を紹介し、関連する項目を確認する) 	<p>グループワーク (ディスカッション、発表)・付箋用意</p> <p>グループを作って、話し合いをさせる。意見を積極的に出し合うよう支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分ではどうしようもない理由で理不尽な扱いを受けていたり、可能性が閉ざされている状況が存在することに気づかせる ・子どもをテーマに進める場合は、「子どもの権利条約」を用いるのも良い